

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25221204	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	インスリン受容体基質複合体の機能修飾を介したインスリン様活性制御法の開発	研究代表者 (所属・職) <small>(平成28年3月現在)</small>	高橋 伸一郎（東京大学・大学院農学生命科学研究科・准教授）

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、インスリン／インスリン様成長因子の生理活性調節機構であるインスリン受容体基質（IRS）と結合タンパク質（IRSAP）の相互作用の理解を通じ、相互作用を阻害する低分子化合物の開発、さらにそれによるインスリン様活性の制御を目的とするものであり、現時点での進捗としては順調と評価できる。動物組織での解析が進まず、方針変更を余儀なくされたものの、IRSAP の新たな同定と分類が進み、それぞれの機能についても良く検討している。

また、作製の難しい遺伝子改変マウスの開発にも目途が立ったと見受けられるため、in vivo レベルでの評価・解析に一層注力し、計画期間内での目標への到達を期待する。

IRSAP との相互作用を阻害する物質が幾つか見つかっているが、次の段階へと進む創薬シードとなり得るかどうかに今後注目したい。